

地域を美しく OIDE清掃

清掃を通して 環境への意識を高める

OIDE清掃とは、学校や学校周辺の環境保全清掃のことをいいます。同校では学校周辺、高岡の森、元善光寺駅前などの清掃を、月ごとクラス単位で分担し実施してきました。実践を通して足元の環境に対する意識が高まつてきました。



OIDE清掃風景

創業は昭和40年。現在地へは工業高校と同じ平成元年に移店しました。食料・惣菜仕出し・お弁当などの製造販売を通じ、高校生の横溢な胃袋を、日々満たしてきました。食べ盛りの高校生には頼りになるお店です。

言うことをきかない子ども、食べものを粗末にする生徒には、人生の先輩として厳しく指導してきました。そんな店主の性格が子どもたちから慕われています。

工業高校がなくなつても、お店を頼りにする多くの人々のために、「当てにされうちは続けていきたい」とのことです。



食料品のさとう

飯田市座光寺3441-1
TEL.0265-22-1545 FAX.0265-22-3158



「ふるざとパック」は旬の座光寺農産物の詰め合わせ。

今回は特産の干し柿「市田柿」を中心に、秋の味覚をお届けします。

●お申し込み先 座光寺自治振興センター内

麻績の里ふるざと応援俱楽部

(TEL.0265-22-1401・FAX.0265-22-1475)

E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp

●お申し込み締切 平成24年12月14日

●お届け時期 平成24年12月25日

※代金は商品到着後にお支払いください。



ありがとうございます

飯田工業高校

飯田工業高校は今年度、その前身から数え70年近くに及ぶ歴史に幕を降ろします。来年4月からは長姫高校と統合し、「飯田OIDE長姫高校」として再スタートを切ります。

同校は数多くの工業技術者を輩出し、製造業を中心とする伊那谷の産業を担い支えてきました。平成元年には現在の地に移転。以来、座光寺のシンボルとして地域に若い息吹を吹き込み、24年の歴史を刻みました。直接的間接的に、同校の存在は地域にたくさんの方々をもたらしてくれました。お別れを数か月後に控えたいま、同校が印した地域との関わりをたどってみたいと思います。



対岸から望む座光寺地区。工業高校は地域のランドマークとして欠かせない存在となっている

No.10
向寒号

信州飯田
麻績の里

麻績の里座光寺便 向寒号

平成24年11月 発行

■ 麻績の里ふるざと応援俱楽部(飯田市役所座光寺自治振興センター内) 長野県飯田市座光寺2535 TEL.0265-22-1401

飯田工業高校外観。校門から玄関にかけて広い庭と駐車場が続き、余裕のある造りとなっている。玄関前の碑には同校の「OIDE精神※」が刻まれている

ありがとう

飯田工業高校

夏休みロボット製作教室

夏休みロボット製作教室は、50名近い子どもたちが参加する、夏休みの人気行事。平成17年に座光寺小学校の5・6年生を対象に始まり、指導は電気科の2年生が当たつてきました。

「人に教えることが学んだものの復習につながる」との考えが根底にあり、一人ひとりのプレゼンテーション能力を培うことも、大きく貢献してきました。



子ども科学教室

公民館主催の地区文化祭に、平成元年から工業高校ブースとして展示等が始ま

りました。昨年から公民館と工業高校の共催で単独開催となり、今年は10月13日に行われました。(詳細は次ページの記事をご覧ください)

インターインシップ制度

2年生を対象に就業を体験する制度で、同校では創設以来10年になります。地元企業での職場体験は、進路を決めるうえで貴重な経験になつてきました。

テックレンジャー

「テックレンジャー」は飯田工業高校で生まれたローカルヒーロー。昨年、FRP加工の授業で作成したマスクに、コンピュータ制御クラブの生徒たちが命を吹き込み、「飯工戦隊テックレンジャー」が誕生しました。以来、地域の催しにたびたび出演。マスクや衣装のほか、ショーの台本・音楽も部員たち自ら考え、子どもたちに夢や希望の大切さを訴えています。

技能検定

工業高校では県のものづくり技能検定(国家技能検定)への挑戦を、学校あげて推進してきました。

今年4月、高校生の合格は非常に難しいとされる同検定に、3年生と1年生の二人が挑戦。見事2級、3級に合格し、一般も加わった技能大会では1位、3位という輝かしい成績を収めました。

このほか地域とは直接的な関係はありませんが、今年度の輝かしい成績を以下に挙げてみます。

- ・電気自動車の全国レースで総合優勝(8月・11月)
- ・マイクロロボコン高校生大会で優勝(9月)
- ・技能五輪全国大会に工業高校OB7名が出場(10月)
- ・ロボコン県大会でキャリー競技優勝(10月)
- ・SBC高校生CMコンテストグランプリ(10月)



地元に聞く

飯田工業高校を語る

池場高男さん(恒川)
飯田工業高校座光寺地区OB会長/長野県技能検定委員会副会長/飯田工業高校卒業後、当時座光寺にあった乾光精機に勤務。培った高度な加工技能は名工とも評価される。同校の技術指導員として生徒たちの指導に当たっている。

現在の池場さんと工業高校との関係は?

池場●学校から依頼されて生徒たちの課外指導を行つています。私自身も技術屋だったのですが、優秀な技術者を一人でも多く育てたいとの思いがあります。幸い工業高校は技能検定受験を促進するなど、学校として技術者育成に力を入れてるので、ありがたいと感じています。

先生も、とても熱心なのでですね。

池場●先生と生徒が力を合わせ一緒になってやる—これが工業高校の校風です。技術の勉強だけでなく、掃除も学校行事も常に一生懸命な姿勢は感

心します。

座光寺にとって、工業高校の存在は…。

池場●移転してきた当时、近くのおばあさんから「若者の姿が見えるようになつてうれしい」という声をよく聞きました。気持ちよく挨拶もしてくれました。地域にとって大きな存在です。

それが今年度でなくなつてしまします。

池場●何ともいえない悲しさがあります。なごり惜しく残念ですが、それだけに今後の活用を地域でしっかりと考へることが大切だと思います。(談)



缶を回収する「キャリーロボット」に興味津々

カメラ
レポート

みんなでつくろう!! おもしろ工作

10月13日、「子ども科学教室」が開催された。この日は「紙飛行機」「メタルトンボ」「電子ホタル」の3つのコースに、26名の座光寺小学校児童が参加。高校生たちの指導による体験教室を楽しんだ。



道具を使って穴アケを体験



工作機を使う先生の手元に注目



電子ホタルの回路をハンダ付け

電子ホタルの回路をハンダ付け

紙飛行機の製作作業

メタルトンボの製作教室

電子ホタルの回路をハンダ付け